

平成31年度
九州地方環境パートナーシップオフィス
運営業務実施報告書

特定非営利活動法人 宮崎文化本舗
一般社団法人 九州環境地域づくり

目次

1. 業務の概要.....	3
2. 業務の実施状況.....	3
(1) 運営委員会と連携した業務の推進.....	3
(2) EPO九州の基本業務.....	6
(3) 環境教育等促進法に基づく国民、民間等の自発的な取組の促進.....	25
(4) 外部連携事業（外部資金を活用した取組）.....	37
(5) EPO九州の維持管理.....	49

本報告書は、平成31年4月～令和2年3月（4月1日から3月31日）の九州地方環境パートナーシップオフィスの運営業務内容について報告するものである。

1. 業務の概要

年間計画に基づき、下記業務を行った。

- (1) 運営委員会と連携した業務の推進
- (2) EPO九州の基本業務
- (3) 環境教育等促進法に基づく協働取組・ESDの促進
- (4) 外部連携事業（外部資金を活用した取組）
- (5) EPO九州の維持管理

2. 業務の実施状況

(1) 運営委員会と連携した業務の推進

EPO九州の活動について、環境パートナーシップに関与するNPO、企業、行政、メディア、有識者等を運営委員とし、助言ならびに取組に応じた協力・連携を得て、円滑かつ効果的な運営に取り組んだ。

また、九州地方ESD活動支援センターの運営にあたり、分科会として企画運営委員会を設置した。

① 運営委員会の開催

運営委員会は、EPO九州の事業方針、事業計画について協議を行うとともに、九州・沖縄地域内の環境パートナーシップに係る情報交換や実態の把握とそれらをとおした課題の洗い出しを行い、EPO九州の運営や事業実施についての助言を行う。本年度は2回開催した。


運営委員会開催状況


第1回	令和元年6月4日（火） 会 場：みやざきNPO・協働支援センター（宮崎市） 出席者：22名
第2回	日 時：令和2年1月7日（火） 会 場：熊本城ホール 中会議室C（熊本市） 出席者：24名

【平成31年度 運営委員】

	分野	県	氏名	所属
1	学識経験者	熊本県	篠原 亮太	熊本県立大学 名誉教授 熊本県環境センター 館長
2	学識経験者	福岡県	石丸 哲史	福岡教育大学社会科教育講座 教授
3	地方公共団体	大分県	御沓 稔弘	大分県生活環境部 うつくし作戦推進課長
4	企業・ 環境ビジネス	福岡県	田村 忠広	一般社団法人九州経済連合会 産業振興部長
5	メディア	宮崎県	川野 武文	株式会社宮崎放送 ラジオ局長
6	NPO・中間支援	長崎県	大向 あぐり	雲仙諏訪の池ビジターセンター
7	NPO・中間支援	熊本県	森山 亜矢子	一般社団法人環不知火プランニング 代表理事
8	NPO・中間支援	鹿児島県	浜本 奈鼓	NPO 法人くすの木自然館 代表理事
9	NPO・中間支援	沖縄県	岸信 朋	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 合同会社 MIRAIMELab (ミライメラボ)

開催概要

行事名	平成31年度第1回 EPO 九州運営委員会
開催日等	日 時：令和元年6月4日（火）15時15分～17時30分 会 場：みやざきNPO・協働支援センター（宮崎市） 出席者：22名 主 催：EPO九州
目 的	平成30年度の運営状況の報告、平成31年度運営計画の協議・助言、 および個別事業に対する連携内容を検討する。
概 要	1. 開会 2. 平成30年度のEPO九州運営状況について 3. 平成31年度のEPO九州運営計画、個別事業について 4. その他
成 果・ 検討事項等	今年度の事業運営について、委員より積極的な連携についての提案がなされるなど、 充実した協議の場となった。 昨年度の評価委員指摘事項についても、取り組みの充実を図ることで対応できる方向性 が確認された。 地域循環共生圏については、新しい考え方として、もっと地域の声を採り入れながら 取組を進める必要について指摘があったほか、SDGs や ESG など経済・金融に関する 接点を広げるにあたり、委員との連携強化に向けた工夫が必要である点が共有された。
写 真	

行事名	平成31年度第2回 EPO 九州運営委員会
開催日等	日 時：令和2年1月7日（火）15時15分～17時30分 会 場：熊本城ホール 中会議室 C（熊本市） 出席者：24名 主 催：EPO九州
目 的	平成31年度の運営実施状況や個別事業について報告するとともに、次年度運営指針について助言をいただく。
概 要	1. 開会 2. 出席者紹介 3. 令和元年度運営状況について 4. その他
成 果・ 検討事項等	<p>今年度運営について報告するとともに、地域循環共生圏構築や SDGs 推進について委員より助言・提案をいただいた。</p> <p>地域循環共生圏の推進に向け、企業や金融機関との連携を、EPO の立場から深めていく必要性について述べられた。大企業だけではなく、中小企業がどのような選択肢を SDGs において選ぶのか、九州独自のエネルギー供給や技術革新における情報収集と発信、連携促進について協議された。</p> <p>平成31年度地域循環共生圏プラットフォーム事業の採択地域と、EPO九州が今後どのように連携し、支援を行っていくのかという点に期待が寄せられた。特に九州・沖縄地域の特色である島嶼部において、優れた協働モデルが形成できれば、多くの地域に波及する点も強調された。</p> <p>SDGs についても、単なる情報の普及にとどまらず、市民一人一人の取組が各目標とどのように繋がるのか、深掘りと啓発について提案が行われた。</p> <p>ワークショップや人材育成に関するフォーラムの開催について、市民の中でも特にユース世代の環境への関心の高まりにマッチするような事業推進が求められる点について提案された。</p>
写 真	

(2) EPO 九州の基本業務

EPO 九州の基本的な業務を「情報発信」「相談対応」「対話の場づくり」と位置づけ、これらを効果的に連携させながら運営に取り組んだ。

また、あわせて「環境保全活動の促進」に向けた対話の場づくりにも取り組んだ。

目標

- ・強みを活かした情報発信、相談対応を活かした対話の場づくりを効果的に連携させた運営

成果目標

- ・インタビュー型コンテンツの発信（3件程度）
- ・効果的な発信ツールの活用
- ・対話の場づくり（5件程度）

① 強みを活かした情報発信・収集

情報発信の強化を図ることを目的に、事業やプロジェクトに関わる「人」にフォーカスしたインタビューを行い、独自コンテンツを創出し、インタビュー結果をウェブサイトやニュースレター等に掲載し、EPO 九州のネットワークを活用して発信した。

具体的には、協働取組やESD推進に取組む関係者へのインタビューを行った。

	関係分野	インタビュー対象候補
インタビューによる コンテンツ創出	地域循環共生圏	環境省環境計画課企画調整室長 岡野室長（ニュースレター巻頭言）
	同時解決事業	美和台社会福祉協議会 城下会長
	地域ESD拠点	鹿島市建設環境部ラムサール条約推進室 江島主査
	外部資金事業	GreenGift 地球元気プログラム 宮崎県実施団体 NPO 法人大淀川流域ネットワーク 杉尾代表

ホームページ・SNS等の活用

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
HP 投稿数	11	17	10	7	8	11
FB 投稿数	25	15	18	8	14	20
メルマガ発行数	2	3	2	2	1	2
発行日	4/16 4/27	5/11 5/16 5/31	6/14 6/29	7/16 7/30	8/15	9/25 9/26
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
HP 投稿数	16	26	23	22	28	37
FB 投稿数	18	25	18	27	26	34
メルマガ発行数	3	2	2	2	4	2
発行日	10/2 10/16 10/30	11/15 11/30	12/17 12/28	1/8 1/17	2/1 2/15 2/21 2/29	3/14 3/31

メールマガジン登録者：674名（令和2年3月末）

ニュースレターの発行

ニュースレターを編集し3000部発行した。

また、2019年発行分について、次のとおり発送を行った。
706件

※主な送付先：九州・沖縄管内のNPO・企業等団体、
環境学習拠点、教育委員会教育センター、NPOセンター、
ビジターセンター、EPO事業関係団体等

ニュースレターの送付先を昨年度より30%増やし、SDGs
やESDに関する九州・沖縄地域の行政組織や、地域循環共生
圏に関連する団体へ送付を行い、EPOの周知を強化した。



平成 31 年度地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業に関する情報収集

取組内容	九州・沖縄地域の9つの地域循環共生圏プラットフォーム（モデル事業採択）と連携し、取り組み内容について情報収集を行い、協働プロセス等について意見交換を行った。全国事務局の作成するヒアリングフォーマットに基づき、地域資源や課題について把握した。
成果	9カ所のプラットフォームが開催する意見交換会に出席し、ワークショップ運営を補助するとともに、参加関係者との意見交換を促進させた。 また、地域の資源を活かした課題解決のビジョンや事業化について把握し、プラットフォームを運営するキーパーソン（行政職員、民間コンサルタント、事業者など）の考え方や工夫について把握することができた。 これらの9ヶ所の取り組みを情報発信ツールとしてとりまとめ、九州・沖縄地域での地域循環共生圏推進に向けた横ぐしをさした情報発信を行った。

意見交換会への参加状況

27	宗像国際環境会議実行委員会	11月19日(火)
28	一般社団法人九州循環共生協議会	11月28日(木)
29	鹿島市ラムサール条約推進協議会	11月20日(水)
30	小国町	11月25日(月)
31	熊本県、南阿蘇村	11月26日(火)
32	奄美市	11月06日(水)~07日(木)
33	徳之島地区自然保護協議会	11月14日(木)
34	宮古島市	11月27日(水)
35	国頭村	12月4日(水)

上記意見交換会参加にあたっては、全国事務局のワークショップ運営等に協力し、意見交換が円滑に進むよう努めた。

また意見交換会参加をふまえた取り組みの把握については、ヒアリングシートとしてとりまとめ GEOC に提出し、集約された。

地域循環圏推進に関する相談対応

相談者	プラットフォーム活動団体
相談内容	地域循環共生圏の推進に向けた、プラットフォーム活動として開催する研修について訪問地域を提案いただきたい。
対応	九州地域から、鹿児島県大崎町、熊本県熊本市、福岡県大木町の環境行政部局を紹介し、視察日程の策定に協力した。 訪問に於いては各地に同行し、各地のSDGsの取組、地域循環のシステム構築について情報収集を行った。

② 相談対応を活かした対話の場づくり

EPO 九州への相談内容等に応じて、対話の場づくりに努める。また、相談内容に応じて、EPO 九州・九州 ESD センターでの対応を検討し、提案等を行う。

今期は3件の相談があり、2件は講師として対応し、意見交換の場づくりを行った。CONE 地域フォーラムについては、関係者からの依頼を受け、11月の開催に向けて、企画の検討を進めた。

■相談対応1

相談者	活動団体
相談内容	里山と SDGs をテーマとした、地域循環共生圏に関するシンポジウム実施について電話相談。
相談日	平成 31 年 4 月 10 日（水）

■相談対応2

相談者	活動団体
相談内容	天草市において、イルカをテーマとした生物多様性、地域振興を目的として SDGs を活用した事業展開について相談。 地域の巻き込みを図る上で、他地域の状況を参考とし活動することを提案した。
相談日	平成 31 年 4 月 18 日（木）

■相談対応3

相談者	活動団体
相談内容	熊本市内にて江津湖外来生物駆除の啓発活動を行うに当たり、地域へ波及するプラットフォーム構築について相談。 地球環境基金の採択を受けており、地域への波及を目的とした円卓会議を実施したいとの内容。
相談日	令和元年 5 月 10 日（金）
今後の予定	江津湖の生態系や外来種の存在をテーマとした数回の座談会を経て、オープンプログラムを実施する方向性で進行。 オープンプログラムについては EPO 九州がファシリテーションを担当し有効性を高める計画とする。

■相談対応4

相談者	企業担当者
相談内容	熊本市を中心に IT コンサルティング事業を展開する企業において、社内外に SDGs の概念を浸透させ、事業展開へ導入することを目的とした相談。
相談日	平成 31 年 4 月 12 日（金） 令和元年 6 月 11 日（火）

■相談対応5

相談者	一般市民
相談内容	森林に関する寄付先についての電話相談。 寄付先について紹介し、連携を図った。
相談日	令和元年5月9日（木）

■相談対応6

相談者	大学教員
相談内容	森林に関する産業、阿蘇地方での地域づくりについて相談。
相談日	令和元年5月14日（火）

■相談・対話の場対応7

相談者	活動団体
相談内容	定期的に主催するエネルギーに関するシンポジウムへのEPO九州登壇について相談。
対話の場	令和元年5月23日（木） 令和元年6月7日（金） ■シンポジウム実施予定 日時：令和元年8月6日（火） 場所：福岡商工会議所 登壇：西部ガス株式会社・EPO九州

■相談・対話の場対応8

相談者	活動団体
相談内容	SDGsの視点からフェアトレード推進を図る企画において、スピーカーとして登壇を行う。
対話の場	日時：令和元年5月11日（土） 場所：九州電力株式会社熊本支店フラットスクエア（熊本市） 備考：SDG15をテーマに情報提供

■相談・対話の場対応9

相談者	活動団体
相談内容	定期総会の計画の中でSDGsに関するテーマを導入する予定であり、講師としてEPO九州の登壇を依頼。 その後の検討の中で、テーマ変更となり、登壇は取りやめとなったが、EPO九州から活動内容の紹介とSDGsの潮流についての資料提供を行った。 同時に地域ESD拠点としての登録について打診を行っている。
対話の場	日時：6月21日（金） 場所：宮崎アートセンター 対象：環境分野に取り組む宮崎県内の企業、及びSDGs等に関心の高い参加者。 備考：EPO九州ニュースレターの配布とSDGsガイドの配布。

■相談・対話の場対応10

相談者	専門学校
相談内容	教養講座の中で、SDGsに関する外部講師を招いた講義を検討している。EPO九州からSDGsについて、基礎的な内容、近年の潮流について学生に向けて講演依頼。 ユースワークショップとして対応することとした。
対話の場	■打ち合わせ 日時：5月8日（水） 場所：専門学校 ■講義実施 日時：5月17日（金） 場所：専門学校 内容：SDGs基礎講座、17のゴール・169のターゲットを使ったワークショップ ※詳細は別掲

■相談・対話の場対応11

相談者	国立大学
相談内容	大学の環境マネジメント活動についての環境監査委員について依頼相談があり、対応した。監査委員会ではSDGsの視点、地域循環共生圏などの考え方を紹介し、大学としての取組への期待を述べた。
対話の場	■実施概要 日時：令和元年8月9日（金）

■相談・対話の場対応12

相談者	農業者団体
相談内容	若手農業者を対象としたSDGs研修を計画している。講師として話題提供いただきたい。
対話の場	■農業者SDGsワークショップ 日時：令和元年8月20日（火） 場所：しらすぎ荘（玉名市） SDGsの基本事項の解説ならびに農業活動におけるSDGsの活用について提案し、参加者の理解を深めるためのワークショップを行った。

■相談・対話の場対応13

相談者	ビジターセンター
相談内容	雲仙市串山地域における環境学習活動について助言・サポートの相談。
対話の場	■雲仙諏訪の池ビジターセンター環境教育サポート 日時：令和元年8月20日（火） 場所：南串山保健福祉センター（雲仙市） 夏休みの子どもたちを対象とした環境学習会をサポートし、SDGsのロゴに親しむプログラムを実施した。

■相談・対話の場対応14

相談者	活動団体
相談内容	SDGsの基本知識が知りたいとの相談あり。採択に至る経緯から、17のゴールの意味などを説明。
相談日	日時：令和元年9月3日（火） 場所：EPO九州（熊本市）

■相談・対話の場対応15

相談者	企業担当者
相談内容	サステナビリティ推進担当者御挨拶訪問。 プレゼンテーション催事開催案内。
相談日	日時：令和元年9月6日（金） 場所：EPO九州（熊本市）
対話の場	■プレゼンテーション催事参加 日時：令和元年11月13日（水） 場所：グランメッセくまもと（益城町） 企業グループでのサステナビリティ活動の紹介。日本初のRE100加盟企業として、SDGsを経営政略に位置付ける活動（脱炭素経営）などの紹介があった。

■相談・対話の場対応16

相談者	助成団体
相談内容	九州・沖縄ブロックの助成事業について申請案件についての審査をお願いしたい。
対応	日時：令和元年11月11日（月） 九州・沖縄各地の団体から申請のあった活動案件について、環境・持続可能社会の観点から審査し、10団体を選定した。

■相談・対話の場対応17

相談者	活動団体
相談内容	農水省の推進する農泊推進事業に取り組む団体より、基盤形成、ネットワークづくりについてアドバイザー活動の依頼があり、これに対応した。
対応	協議会等に出席し、活動内容について助言等を行った。

■相談・対話の場対応18

相談者	温暖化防止活動推進センター
相談内容	SDGsを含む温暖化・気候変動についての研修セミナーを開催するにあたり、登壇いただきたい。
対話の場	日時：令和元年12月13日（金） 場所：かごしま県民交流館 SDGsの基本的な考え方、気候変動・エネルギー分野に係るゴールを紹介するとともに、金融、自治体の事例発表者とともに意見交換・ディスカッションを行った。

■相談・対話の場対応19

相談者	活動団体
相談内容	自然体験活動推進に向けたフォーラム開催について、実行委員として協力いただきたい。
対話の場	<p>■九州自然体験活動推進フォーラム 日時：令和2年1月29日（水）～30日（木） 場所：国立阿蘇青少年交流の家 自然体験活動を進めるにあたって、事故怪我の防止、天候情報の把握、保険加入など様々な場面でのリスクマネジメントをテーマにした研修と模擬訓練の体験。 EPO九州からは、SDGsの取組紹介などを行った。</p>

■相談・対話の場対応20

相談者	活動団体
相談内容	九州北部の田畑の生物多様性をテーマにした高校生の体験ワークショップを検討しており、活動内容について助言いただきたい。
対応	オンライン会議を行い、地域の活動団体の状況や課題、テーマ設定について意見交換を行った。

■相談・対話の場対応21

相談者	活動団体
相談内容	九州北部の田畑の生物多様性をテーマにした高校生の体験ワークショップを検討しており、活動内容について助言いただきたい。
対応	オンライン会議を行い、地域の活動団体の状況や課題、テーマ設定について意見交換を行った。

■相談・対話の場対応22

相談者	自治体自然共生部局
相談内容	都市緑化に関する計画改定の委員として助言等をいただきたい。
対応	委員就任し、計画内容の見直し、改定の方針等について意見提出を行った。

■相談・対話の場対応23

相談者	自治体自然共生部局
相談内容	生態系保全に配慮された農産物の普及啓発について、消費地域である沖縄県での情報交換を実施したい。
対応	<p>これまでのEPO九州の活動から、該当地域地域の環境活動団体を紹介した。 当該団体のネットワークが活用され、沖縄県全域からの参加のもと、農産物生産地域と消費地域の情報交換と経験交流の場づくりがなされた。 日時：令和元年11月7日 開催地域：沖縄県那覇市</p>

■相談・対話の場対応24

相談者	活動団体
相談内容	河川保全活動の推進にあたり、資金の獲得や関係者の巻き込みについて助言をお願いしたい。
対応	河川環境の保全に特化した助成金制度の紹介を行うと共に、地域内で同テーマで取り組む河川活動団体との協働について助言を行った。

■名義後援

開催日	行事名	県	会場	主催
11月30日	ながさきエコライフフェスタ	長崎県	長崎水辺の森公園	ながさきエコライフ実行委員会

③地域における環境保全活動の促進

ア. 経済・金融分野のSDGs推進状況調査

SDGsの推進に取り組む金融機関や経済団体の情報収集を行うとともに、担当者のヒアリングを行った。調査にあたってはアンケートシートを作成するとともに、関係先リストを整理し、各団体が開催するセミナー等のプログラムに参加・情報収集を行った。

<金融機関アンケート集計結果報告>

- 調査期間：2019年7月～2019年3月
- 調査方法：郵送でのアンケート依頼。
- 調査対象：九州圏内金融機関49社（うち回答者17社）

1. SDGs・地方創生の専門部署がありますか？

専門部署がある	5社	専門部署はない	12社
---------	----	---------	-----

2. 地域循環共生圏という言葉をご存知ですか？

知っている	12社	知らない	5社
-------	-----	------	----

3. SDGsやESG金融について、どのような取組をされていますか？

社内向け (SDGsに関して、社内向けの研修や教育など)	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs バッジを全役職員に配布し着用。SDGsに対する理解を深めるとともに、取り組みの輪をお取り引き先に等にも拡げていくきっかけとしている。 ・行内誌で当行がこれまで取り組んできたSDGsに関する取り組みを紹介。 ・SDGs・ESGに関する勉強会を本部役員・支店長・担当者向けに実施。 ・SDGs・ESGに関連する本部各部の取り組みの取りまとめを実施。 ・行内通達へSDGs項目を追加し、自然と目に入る形をとっている。 ・行員が営業活動で配布する説明ツール（リーフレット）を作成。 ・SDGsの考えを基に中期計画を策定。
---------------------------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・エコオフィス宣言などは行っている。 ・本業を通じた環境貢献には取り組んでいる。 ・地域経済貢献・職場環境改善・環境保護など。 ・経営理念に SDGs を導入。
社外向け (SDGs・ESG 金融に関する商品や啓発活動など)	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs セミナー・ワークショップを社外向けに開催 ・PR誌で当行がこれまで取り組んできた SDGs に関する取り組みを紹介。 ・各種セミナーでの講演を通じた地域への SDGs 理解の浸透。 ・外貨定期預金からの為替手数料の一部を社会課題関係の活動へ寄付。 ・通帳レス推進で、通帳不発行 1 件につき、100 円を積み上げていき、50 万円毎に SDGs に資する団体へ寄付。 ・SDGs 活動推進のための私募債などの金融商品を提供。(私募債発行企業からいただく収益の一部を SDGs に貢献する団体等へ寄付する商品、お客様が指定した団体等に寄付するもの等)

4. SDGs に取り組む上での課題は何ですか？

<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動における持続可能な取り組みとしての定着が課題。 ・SDGs について理解している職員がいないこと。 ・まだまだ行内(グループ内)の SDGs に対する意識は定着しておらず、意識の醸成を図る必要がある。 ・経営トップから末端の職員まで「SDGs」を認識し、浸透させ、行動すること。まだまだ認識がない状況。 ・全体的な意思統一。 ・SDGs 関連金融商品の活用(環境省、経産省の利子補給事業)、お客様セミナーの実施など。 ・お客様の認知度がまだ低い。 ・取引先の SDGs 取り組みへの評価方法とモニタリング。 ・現状、行内にて既存施設を SDGs、ESG の関連性の理解を図っている状況であり、SDGs 視点での各施策の企画立案、実行への形を目指しているが、時間を要する。 ・SDGs 達成に向けた施策等の企画・立案。
--

5. 今後の SDGs や ESG に取り組む予定がありましたら教えてください。



<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動における SDGs、ESG に対する基本的な考え方の整理、对外開示。 ・今のところないが、いろいろな情報をいただき、研究し、行動していきたい。 ・本部各部署で取り組み中の施策を SDGs の関係性や今後の施策への反映について研究しているところ。 ・SDGs の主旨に賛同し、引き続き地域社会、経済の持続的な成長・発展に対する取り組みを行う。 ・事業活動における SDGs、ESG に対する基本的な考え方の整理、对外開示。 ・地域特有の課題解決、人材育成、イノベーションの実現など。 ・健康配慮経営に向けた取り組み。 ・SDGs の取り組む項目を決め、その項目に対する「行動指針」作成を検討中。 ・SDGs に関連したチャリティーバザー等。
--

<アンケート以外の情報収集活動>

情報収集先	九州・沖縄管内の地方銀行及び各地区青年会議所等
調査及び 情報収集	<p>■肥後の水とみどりの愛護基金訪問 期 日：平成31年4月18日（木） 場 所：公益財団法人 肥後の水とみどりの愛護基金（熊本市） 成 果：基金の活動と法人の母体である肥後銀行の取り組みについてヒアリング。</p> <p>■大分県訪問 期 日：令和元年5月8日（水） 場 所：大分県うつくし作戦推進室（大分市） 成 果：地域の金融分野と行政の関わりについてヒアリング。</p>
調査及び 情報収集	<p>■ESG 金融説明会出席 期 日：令和元年5月17日（金） 場 所：TKP 博多（福岡市） 成 果：環境省主催の説明会にて、ESG 投資や環境施策に関する情報を収集。</p> <p>■地域循環共生圏シンポジウム参加 期 日：令和元年5月18日（土） 場 所：電気ビルみらいホール（福岡市） 成 果：環境省主催のシンポジウムにて、地域循環共生圏に関するコンセプトや、九州全体の取り組みを公開するシンポジウム。金融関連の出席者と情報交換を行う。</p> <p>■日本青年会議所九州地区熊本ブロック協議会 SDGs フォーラム出席 期 日：令和元年5月25日（土） 場 所：宇土市役所（宇土市） 成 果：青年会議所の地域におけるSDGs の取り組みについて情報を収集。</p> <p>■地球温暖化に関するカンファレンス 期 日：令和元年6月7日（金） 場 所：TKP 博多（福岡市） 成 果：脱炭素に関する潮流や環境施策公開の場において情報を収集。</p> <p>■日本青年会議所九州地区大会及びSDGs 未来展の参加 期 日：令和元年6月8日（土） 場 所：シーハットおおむら（大村市） 成 果：青年会議所の地域におけるSDGs の取り組みについて情報を収集。</p> <p>■肥後銀行サステナビリティ推進室訪問 期 日：令和元年6月19日（水） 場 所：肥後銀行本店（熊本市） 成 果：肥後銀行におけるSDGs の取り組みについてヒアリングを実施。</p> <p>■広島県内金融機関意見交換会 期 日：令和元年6月27日（木） 場 所：EPO ちゅうごく（広島市）</p>

	<p>成 果：地方 EPO が金融機関等に提供する活動情報ニーズ（団体情報、マッチング情報）について把握された。</p> <p>■九州スマートエネルギー協会 講演対応 期 日：令和元年8月6日（火） 場 所：福岡市商工会議所（福岡市） 成 果：エネルギー技術企業において SDGs の認識は高まっており、組織内の周知や事業アピールへの活用などの取り組みについて意見交換を行った。</p>
調査及び 情報収集	<p>■九州フィナンシャルグループ打合せ 期 日：令和元年8月7日（水） 場 所：九州フィナンシャルグループ事務所（熊本市） 成 果：九州フィナンシャルグループの SDGs・地方創生に関する取り組み状況ヒアリング。</p> <p>■All 九州～持続可能な地域づくりへの SDGs 地域連携フォーラム参加 期 日：令和元年8月8日（木） 場 所：北九州芸術劇場（北九州市） 成 果：九州における SDGs 未来都市が連携し、官民連携フォーラム内に地域連携分科会を設置し、情報交換、連携した取り組みを進めることが発表された。</p> <p>■「エコテクノ 2019～地球環境ソリューション展／エネルギー先端技術展～（第24 回）」での SDGs セミナー開催 期 日：令和元年10月10日（木） 場 所：エコテクノ展会場 セミナーB（北九州市） 成 果：SDGs 推進に向けた、金融・事業者を対象とした政策や地域協働による事業取組を発信し、企業活動の今後の方向性について知見を共有した。 ※詳細は別掲</p> <p>■大分銀行 SDGs セミナー 期 日：令和2年1月21日（火） 場 所：大分銀行 宗麟支店（大分市） 成 果：東京海上グループの CSR/CSV の取組について、シャボン玉石鯨株式会社の SDGs 推進活動についての情報収集</p> <p>■熊本 SDGs 推進フォーラム 期 日：令和2年2月8日（土） 場 所：肥後銀行本店ビル 大会議室（熊本市） 成 果：内閣府地方創生推進事務局による国の SDGs・地方創生推進の取組、大西市長による熊本市の熊本地震の経験と教訓を活かした地域力向上事業と SDGs 未来都市としての SDGs 推進状況について情報収集</p>

イ. ユース環境政策ワークショップの開催


日時	令和元年5月17日(金)
場所	熊本 YMCA 学院専門学校(熊本市)
概要	<p>熊本 YMCA 学院専門学校と連携し、学生を対象に実施している教養講座において、下記セミナー・ワークショップを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●SDGs についての基礎情報 <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境の現状と SDGs 採択に至る経緯 ・MDGs について ・SDGs17 のゴールの意味 ・SDGs169 のターゲットについて ●17 ゴール・169 ターゲットワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味のあるゴールについて、自分たちで出来ることを考え、共有。
成果	<p>SDGs に関心の薄いユース世代に対し、基礎知識や近年の潮流をインプットする機会として実施。参加した学生の中でも関心の高い層によるフィードバックなど、訴求するワークショップの工夫、ツール改善が進んだ。</p> <p>学生にとっても、学びをとおして環境政策についての理解が深まるワークショップとなった。</p>
写真等	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>


ウ. 九州環境教育ミーティングの共催
年間計画について

行事名	九州環境教育ミーティング in 球磨
実施計画	開催時期：四季に応じた個別のテーマにて4回を予定 開催地域：熊本県球磨郡球磨村 対象者：持続可能な地域づくりに関わる団体・事業者など30名程度 主催：九州環境教育ミーティング 共催：EPO九州
打合せ等	<p>日時：令和元年5月29日（水）・30日（木） 場所：田舎の体験交流館 さんがうら（熊本県球磨郡球磨村） 出席者：4名 内容：大会の開催時期や地域協力者の検討、フィールドの確認、実施体制等について検討を行った。次回、7月5日から6日にかけて第一回の実行委員会を開催する旨で一致した。</p> <p>日時：令和元年7月5日（金）・6日（土） 場所：田舎の体験交流館 さんがうら（熊本県球磨郡球磨村） 出席者：8名 内容：具体的な開催時期や地域協力者の検討、フィールドの確認、実施体制等について検討を行った。開催内容において、単一の実施とせず、季節感を取り入れた主題の基、年間を通じて4回の実施を行うことで一致し、第一回を秋季開催とすることで一致した。</p> <p>日時：令和元年9月6日（金） 場所：EPO九州 出席者：4名 内容：秋編プログラムについて企画打合せ、役割分担について協議した。</p> <p>日時：令和2年1月20日（月） 場所：八代市内 出席者：5名 内容：冬編プログラムについて企画打合せ、役割分担について協議した。</p>

各実施について

行事名	九州環境教育ミーティング in 球磨 秋編
開催日等	開催日程：令和元年9月28日（土）～29日（日） 開催地域：熊本県球磨郡球磨村 参加者：持続可能な地域づくりに関わる団体・事業者など21名 主催：九州環境教育ミーティング 共催：EPO九州
プログラム概要	1日目（28日 土曜日） 13：30 開会・オリエンテーション 14：00 フィールドワーク「棚田の歴史と地形、先人の営み（松谷棚田）」 場所：松谷地区及び、日本の棚田百選「松谷棚田」 大岩群・V字谷・古代の遊水地、官営製材所、稲作・棚田

	<p>17:30 フィールドワーク終了 2日目(29日 日曜日) 09:00 フィールドワーク 2 毎床地区・100年の梨。毎床溝が育んだ営み。 場所：毎床地区周辺 11:00 フィールドワーク終了 振り返りと環境教育懇談会 12:30 終了 ※協力者：球磨村・松谷地区住民・松谷棚田保存会・球磨村観光案内人の会</p>
写真	

行事名	九州環境教育ミーティング in 球磨 冬編
開催日等	<p>開催日：令和2年2月1日～2日 開催地域：熊本県球磨郡球磨村 参加者：持続可能な地域づくりに関わる団体・事業者など24名 主催：九州環境教育ミーティング 共催：EPO九州</p>
プログラム概要	<p>1日目(1日 土曜日) 14:30 開会・オリエンテーション (場所：ふれあい交流室 or 体育館) 15:00 球磨村の郷土食について説明 15:30 ワークショップ(体験)「郷土に伝えられた食を味わいつくそう」 2日目(2日 日曜日) 09:00 ワークショップ「地名・地域に伝わる伝承から見る球磨」 11:00 振り返り(各グループの発表・質問など) 12:00 閉会 ※協力：球磨村・球磨村教育委員会・三ヶ浦地区住民・球磨村観光案内人の会・球磨村防災会議・球磨村消防団</p>
写真	


④ 全国 EPO ネットワークとの連携

地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）ならびに地方 EPO と連携し、全国事業の推進を円滑に行う。また、全国 EPO 連絡会議等に出席し、情報共有と運営強化に努める。

行事名	GEOC 打ち合わせ
開催日等	日時：4月25日（木）・26日（金） 場所：GEOC（東京都渋谷区） 出席者：8名
概要	地域循環共生圏に関する取組について、各ブロックでの取組状況（情報収集など）やプラットフォーム事業について情報交換し、EPO 事業における対応について意見交換を行った。
成果 ・ 検討事項	地方事務所との緊密な連携を念頭に、全国 EPO 連絡会においても情報共有や論点整理を行うことが合意された。


行事名	地域循環共生圏対応に関する EPO 会議
開催日等	日時：6月20日（木） 場所：GEOC（東京都渋谷区） 出席者：9名
概要	4月の打合せに続き、環境教育推進室で公募された人材発掘事業や環境経済課による利子補給事業など、地域循環共生圏のプラットフォーム推進に関係する政策や情報について意見交換した。
成果 ・ 検討事項	すでに運営計画等に基づいて EPO 事業の取り組みが始まっており、EPO 九州における金融関係の調査・連携状況が先行的な参考となるため、適宜情報共有を進めることとなった。

行事名	令和元年度 第1回全国 EPO 連絡会 in 広島
開催日等	日時： 6月25日（火）12:00～26日（水）10:00（エクスカーショ） 6月26日（水） 12:30～18:45（EPO 連絡会） 6月27日（木） 9:30～11:00（分科会） 会場： 【エクスカーショ】広島県山県郡北広島町（芸北エリア） 【EPO 連絡会】県立広島大学 サテライトキャンパスひろしま 502 大会議室 【分科会】県立広島大学 サテライトキャンパスひろしま 出席者：52名

<p>目 的</p>	<p>エクスカージョンとして、広島県芸北地域の地域循環共生圏モデルを視察した後、平成 31 年度の EPO 事業、ESD センター事業の取り組みについて情報交換。また地域循環共生圏や ESG 投資に関するコンセプトを理解し、各地方の事業へ反映させる。</p>
<p>概 要</p>	<p>〈次第〉 1. 開会あいさつ 2. オリエンテーション 3. 【議題 1】 EPO ネットワークについて 4. 【議題 2】 外部連携事業について 5. 【議題 3】 同時解決支援事業について 6. 【議題 4】 省内の動きについて 7. 【研修】 8. 地域 ESG 金融関連事業</p>
<p>成 果 ・ 検討事項</p>	<p>地球環境基金の今年度事業計画のうち、ユース環境活動発表大会の地方審査に、各地方 EPO がどのように関与するのか、また場の設定についてどのような方針をとるかについて検討が行われた。 助成金説明会についても昨年の内容を受け、どのような改善点があるかについて意見交換を実施した。 地域循環共生圏をテーマにしたユース世代の普及啓発、交流の場として、企画するに当たっても、EPO がどのように関わり方向性を定めるかについて検討した。 同時解決事業について、成果抽出に向け SDGs のどの部分に注視するのか、また成果形成に向け指標をどのように設定するのかについて議論が行われた。 また ESG 金融について、広島県の金融機関や環境省環境経済課職員による情報提供が行われ、意見交換を行った。</p>
<p>写 真</p>	 <p>The photograph section contains four images. The top-left image shows a group of people walking outdoors on a paved path, possibly during a field visit. The top-right image shows a group of people seated around a table in a meeting room, engaged in a discussion. The bottom-left image shows a meeting with a presentation screen displaying a map. The bottom-right image shows a large group of people seated at round tables in a conference room, likely during a formal meeting or presentation.</p>

行事名	EPO 受託者会議
開催日等	日 時：6月27日（木） 9：30～11：00 日 時：会場： 県立広島大学 サテライトキャンパスひろしま 出席者：28名
目的	平成31年度の全国事業、外部連携事業、および個別事業について、情報共有と意見交換等を行う。
概要	<協議事項> 1. 外部連携事業について 2. 地域循環共生圏について 3. 今後のスケジュールについて
成果 ・ 検討事項	地球環境基金との連携において、助成事業の成果をどのように上げ、EPO 事業とどのように絡めていくかについて検討を行った。 ユース環境ネットワークについては、交流促進の手法、発表者へのフィードバックなど具体的な内容について意見交換を実施した。 助成金説明会について、SDGs との差別化をどう図るか、共生圏の担い手をどのように育成するのかについて検討した。 また個別相談のニーズの高まりを受け、説明会に地域性をどこまで導入していくかを各 EPO で意見交換した。

行事名	令和元年度 第2回全国 EPO 連絡会
開催日等	日 時：令和元年1月16日（木） 9：00～17：00 会 場：GEOC セミナースペース（東京都渋谷区） 出席者：35名
目的	令和二年度地域循環共生圏事業、及び重点施策について情報交換を行う。 またその他、SDGs 同時解決事業等全国のネットワーク事業について検討する。
概要	<次第> 1. 開会あいさつ 2. 【議題】 令和二年度地域循環共生圏事業について 3. 【議題】 令和二年度重点等について（制作プロモーション室） 4. 【議題】 EPO ネットワーク共通事業について
成果 ・ 検討事項	地域循環共生圏事業においては同時解決事業の考え方と共通する部分が多く、実践から得られるノウハウが有効である点が共有された。 各地からの情報提供からは、経済、金融分野の関心が高まっている一方、多様なステークホルダーの役割が明確化されてない現状、また合意形成の檀家に於いても各地域でばらつきが大きい状況が把握された。 また今年度行ってきたプラットフォーム支援においても、今年度の課題を明確にし、次年度の計画策定や EPO の担う役割設定についても協議された。 二カ年にわたって取り組みを進めた同時解決事業において、成果共有の場づくりについての意見交換が行われ、最終成果物のビジョンについても検討された。

写 真	
-----	---

行事名	令和元年度 第2回 EPO 受託者会議（分科会）
開催日等	■日時 令和2年1月16日（木） 15：45～ ■会場 GEOC セミナースペース（東京都渋谷区） ■出席者：19名
目 的	平成31年度の全国事業、外部連携事業、および個別事業について、情報共有と意見交換等を行う。
概 要	<協議事項> 1. 同時解決事業成果共有会について 2. 地域循環共生圏情報収集活動について 3. その他
成 果 ・ 検討事項	同時解決事業 2 か年の成果取りまとめの場であるギャザリングに向けて、各採択団体の発表資料、EPO からの伴走支援報告について意見交換した。 また地域循環共生圏の対応については、ブロックごとの案件数にばらつきがあり、対応するにあたっての工夫や見立て方について情報交換を行った。 地球環境基金とは引き続き連携した取り組みを進めることが確認された。

(3) 環境教育等促進法に基づく国民、民間等の自発的な取組の促進

①SDGs をツールとした地域の環境課題と社会課題を同時解決するための民間活動支援業務

「ローカルフードサイクリング美和台」地方支援事務局業務

標記事業について、地方支援事務局として支援計画書に基づき必要な業務を行った。

目標

- ・地域における環境課題への取組を、SDGsを活用することにより、他の社会課題の取組と統合的に進めることで、それぞれの関係の深化、ステークホルダーの拡大、課題解決の加速化等を進めるとともに、SDGsへの理解を促す。

成果目標

- ・同時解決事業の採択された事案に対して地域支援事務局の役割を担い、地域内各地で活動する関係主体や拠点施設等と連携し、持続可能な社会に向け環境課題とその他の社会課題の解決に資する協働モデルの創出を目指す。
- ・進行管理に必要な連絡調整
- ・採択団体に対して、事業進捗に応じて必要な支援
- ・月次報告の作成支援と取組状況への助言、全国事務局・九州地方環境事務所への報告
- ・連絡会の開催（2回）
- ・全国事務局との連携・事業形成会議への出席（2回）
- ・成果共有会への出席（1回）

○地方支援事務局業務



ア. 採択団体に対して、進行管理に必要な連絡調整や事業進捗に対して必要な支援を行った。

団体名	NPO 法人 循環生活研究所
事業名	ローカルフードサイクリング美和台
打合せ等	<打合せ> 期 日：平成31年4月23日（火） 会 場：団体事務所（福岡市東区） 出席者：4名 内 容：同時解決事業進捗状況確認及び連絡会打合せ

<p>打合せ等</p>	<p><第1回地域協議会参加> 期 日：令和元年5月28日（火） 会 場：美和台公民館（福岡市東区） ※詳細は別掲</p> <p><打合せ> 期 日：令和元年7月12日（金） 会 場：団体事務所（福岡市東区） 出席者：4名 内 容：おたいさまコミュニティ会議について ふれあいネットワークについて 外部講師招聘打合せ 毎日新聞田中氏取材記事について</p> <p><コンポスト巡回同行> 期 日：令和元年8月8日（木） 会 場：美和台団地（福岡市東区） 内 容：循生研コンポストクルーの見守り巡回に同行。 事業内容の深耕やコンポスト設置家庭のヒアリング</p> <p><第2回地域協議会参加> 期 日：令和元年9月26日（木） 会 場：美和台公民館（福岡市東区） 出席者：19名 内 容：同時解決事業進捗状況紹介及び地域の協力体制について</p> <p><外部講師招聘> 期 日：令和元年9月30日（月） 会 場：美和台公民館（福岡市東区） ※詳細は別掲</p> <p><打合せ> 期 日：令和元年12月11日（水） 会 場：団体事務所・美和台中央公園・美和台公民館（福岡市東区） 出席者：3名 内 容：進捗状況確認、SDGsリーフレット納品、設置型コンポスト視察</p> <p><美和台校区社会福祉協議会 城下会長インタビュー> 期 日：令和2年1月24日（金） 会 場：立花高等学校（福岡市東区） 出席者：3名 内 容：同時解決事業の事業協力団体の社会福祉協議会の城下会長へのインタビューすることで、地域と循生研の関わりや、美和台校区が目指している姿の確認が出来た。</p>
-------------	--

イ. 月次報告の作成支援と取組状況への助言、全国事務局・九州地方環境事務所への報告
 事業着手後の進捗について、採択団体より月次報告を受領し、地方支援事務局の観点から、取組を分析し、対応状況等についてコメントしたものを全国事務局と九州地方環境事務所へ送付した。


ウ. 連絡会の開催
 第 1 回連絡会の開催

<p>概要</p>	<p><同時解決事業連絡会> ■令和元年度 第 1 回連絡会の開催 期 日：令和元年 5 月 28 日（金）13:30-14:30 会 場：美和台公民館（福岡市東区） 出席者：11 名 内 容：同時解決事業の進捗状況の共有 取組課題のついでの共有</p> <p>■令和元年度 第 1 回地域協議会への参加 期 日：令和元年 5 月 28 日（火）14:40-16:00 会 場：美和台公民館（福岡市東区） 主 催：NPO 法人循環生活研究所 内 容：地域のステークホルダー（自治会や社会福祉協議会、民生委員など）との意見交換会へ参加。地域での取り組み課題等について共有</p>
<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境と福祉という異なる分野で活動する団体・組織の相互理解や合意形成を促すことで、目標を共有し、それぞれの強みを活かして取り組むための関係構築を促進することができた。 ・アドバイザー委員の田中氏（毎日新聞社）による現地視察をとおして、同時解決推進や課題解決に向けた団体の対応力が強化されるとともに、活動が新聞記事に掲載され大きな周知効果を得ることができた。
<p>連絡会 写 真</p>	
<p>地域協議会 写 真</p>	




第2回連絡会の開催

<p>概要</p>	<p><同時解決事業連絡会> ■令和元年度 第2回連絡会の開催 日 時：令和2年1月24日（金）12:20～14:20 会 場：立花高等学校 606号室（福岡市東区） 出席者：11名 内 容：同時解決事業の進捗状況の共有 全国の取組状況について 成果共有会に向けての意見交換</p> <p>■令和元年度 第3回地域協議会への参加 日 時：令和2年1月24日（金）15:00～16:00 会 場：ホットスペースたちばな（福岡市東区） 主 催：NPO 法人循環生活研究所</p> <p>内 容：地域のステークホルダー（自治会や社会福祉協議会、民生委員など）と、今後の美和台地域でコンポスト事業をどう残していくか等の取り組み課題等について意見交換</p>
<p>連絡会 写真</p>	
<p>地域協議会 写真</p>	

工. 全国支援事務局との連携・事業形成会議への出席

行事名	平成 31 年度同時解決事業 事業形成会議
開催日等	<p><第 1 回事業形成会議> 日 時：令和元年 6 月 21 日（金） 会 場：国連大学（東京都渋谷区） 出席者：20 名 主 催：GEOC</p> <p><第 2 回事業形成会議> 日 時：令和元年 6 月 21 日（金） 会 場：国連大学（東京都渋谷区） 出席者：18 名 主 催：GEOC</p>
目 的	成果の取りまとめに向けてアドバイザー委員会を踏まえた全国事務局の分析、仮説について意見交換を行う。
概 要	<p><次第></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 進捗状況の共有 2. 支援事務局振り返り 3. 成果の取りまとめと成果共有会にむけて
成 果	<p><第 1 回事業形成会議> 全国事務局側からの提案を受け、地方支援事務局として活動する全国各地の EPO と本事業についての意見交換を実施した。 事業の推進体制について、再検討し整理する必要性について認識を共有した。</p> <p><第 2 回事業形成会議> 成果共有の場作りに向けた取りまとめについて検討を行った。 また EPO による採択団体への支援内容の現況、今後の方向性について議論された。</p>
写真	

オ. 成果共有会「ローカルSDGs ギャザリング」への出席


<p>行事名</p>	<p>環境省「持続可能な開発目標(SDGs)を活用した地域の環境課題と社会課題を 同時解決するための民間活動支援事業」成果共有会 ～ローカルSDGs ギャザリング～</p>
<p>開催日等</p>	<p>日 時：令和2年2月23日(日) 10:00~18:00 会 場：国連大学2階レセプションホール(東京都渋谷区) 参加者：80名 (採択団体・一般・アドバイザー委員・環境省・EPO/GEOC/UNU等)</p>
<p>概要</p>	<p>1. 開会挨拶 2. 国連大学サステナビリティ高等研究所よりプレゼンテーション 3. アピールタイム(全国8事業からのプレゼンテーション) 4. コミュニケーションタイム(全国8事業についての詳細説明) 5. 全体ディスカッション 6. 採択団体&アドバイザー委員コメント</p>
<p>成果</p>	<p>アピールタイム等をとおして、数値化されにくい「見守り」と数値化された「ごみ減量」の両方について、丁寧な取り組みによって成果があったと評価された。 2025年地域包括ケアシステムの始動を想定して、今後も取り組みを継続、確立するという具体的な目標が明示できた。 全体ディスカッションにおいて「同時解決」について地域との協働やSDGsについて話し合え、採択団体自身が活動を俯瞰することができた。</p>
<p>写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>

カ、九州地方支援事務局独自の取組

○外部講師の招聘

<p>概要</p>	<p>■NPO 法人トチギ環境未来基地代表理事塚本竜也氏講演会 期 日：令和元年9月30日（月）、 会 場：美和台公民館（福岡市東区） 出席者：15名 内 容：「若者と高齢者の支え合いの関係は～若者が地域を支え、地域が若者を変える仕組み～」と題して講演会を開催。 トチギ環境未来基地で行っている「仕事屋」の仕組みの紹介などを紹介。</p>
<p>成果</p>	<p>外部講師（NPO 法人トチギ環境未来基地代表塚本竜也氏）を招聘し、「仕事屋」の仕組みを共有することで、美和台地域が取組もうとしている「地域コンシェルジェ」事業への先進事例を学ぶ場を設定した。 ローカルフードサイクリングの考え方を地域に落とし込む手法についても助言が提供された</p>
<p>写真</p>	

OSDGs 推進に関する発信ツールの作成

<p>打合せ等</p>	<p><打合せ> 日 時：令和元年6月19日（水） 令和元年7月11日（木） 令和元年8月9日（金） 令和元年9月6日（金） 会 場：EPO 事務所他（熊本市） 出席者：3名（含専門業者） 内 容：SDGs 推進に関する発信ツール（リーフレット）の概要イメージについて打合せ</p>
<p>成果</p>	<p>SDGs リーフレットを作成し、SDGs の啓発と同時解決事業の周知に活用した。 地域循環共生圏についても項目を盛り込み、幅広い場面で利用した。</p>
<p>写真</p>	



○ブロック横断研修の開催

<p>開催日等</p>	<p>日 時：令和元年8月29日（木）～31日（土） 会 場：宮城県仙台市・山形県鶴岡市等 出席者：NPO 法人 循環生活研究所木村氏、美和台社会福祉協議会城下会長 山形県鶴岡市「三瀬地区自治会」 一般社団法人 おらって新潟市民エネルギー協議会 EPO 東北・関東 EPO・EPO 九州</p>
<p>概 要</p>	<p>〈プログラム〉 令和元年8月29日（木） ■関東・東北ブロック採択団体意見交換（鶴岡市） 令和元年8月30日（金） ■東北ブロック採択団体フィールドの見学（鶴岡市三瀬地区） ・ひゃくねん森／三瀬保育園</p>
<p>成果</p>	<p>同時解決事業に取り組む他ブロックの採択案件について、同時解決性、SDGs の活用、地域自治会等との関係構築・推進について視察及び意見交換を行うことで、九州ブロックでの取り組みの参考にするとともに、団体間のネットワーク形成を促進させることを目的に実施した。 EPO 東北・関東 EPO と協力し、ブロック横断研修の場作りを行い鶴岡市三瀬地区を始めとしたフィールドを視察するとともに、関係者意見交換を行い、採択団体・協力団体の知見を深めた。</p>
<p>写真</p>	 <p>The '写真' (Photos) section contains three images. The first image shows a group of people sitting around a table in a meeting room, engaged in discussion. The second image shows a field visit to a nursery, with people looking at wooden bunk beds. The third image is a group photo of all participants and organizers standing together in a room with wooden beams.</p>

② SDGs 研修・ワークショップの開催

第五次環境基本計画を踏まえ、自治体又は環境学習施設が行う SDGs の推進に向けた普及啓発等の取組に対し、研修・ワークショップを2地域で開催しこれを支援する。


研修・ワークショップでは、自治体職員、地域住民、企業等の SDGs への理解を深め、SDGs の達成に向けた意識の醸成に資するものとする。また、SDGs の具体的活用方法がイメージできるよう、自治体又は環境学習施設が行う研修等との共催を図る。

行事名	水俣市連携ワークショップ 「ともに暮らすみなまたフォーラム ～優しくて強いまちに育てよう～」
開催日等	日時：7月27日 9:00—15:00 会場：水俣市
目的	持続可能な地域づくりに取組む事業者や活動団体に、SDGs の視点をとおして課題や問題意識を共有し、水俣地域の積極的な活動推進を充実させる。
概要	<p><打ち合わせ> 日時：5月23日（木） 会場：水俣市役所等</p> <p><開催> 日時：7月27日 土曜日 10時～ 会場：白梅の杜あつまろう家・湯堂港（水俣市） 参加：23名</p>
成果 検討事項	<p>SDG の普及啓発のためのワークショップの場として、SDGs の理解を深めながら、達成に向けたプロセスをどのように想像するかについての意見交換を実施。</p> <p>地域の活動主体が具体的な活動内容と地域の持続可能性との関連について、発表を行い、ワークショップや漁業に関するフィールドワークを企画した。開催については地域 ESD 推進拠点の環不知火プランニングと連携した。</p> <p>フォーラム実施を通し、地域の関係者が地域の持続可能性について語る重要性を認識し、異分野による横断的なアイデア共有の価値について再認識した。</p>
写真	 

行事名	「エコテクノ 2019～地球環境ソリューション展／エネルギー先端技術展～（第24回）」でのSDGsセミナー開催
開催日等	日 時：令和元年10月10日（木）10:30～12:20 ※催事は令和元年10月9日（水）・10日（木） ・11日（金）の3日間開催 会 場：エコテクノ2019会場内 セミナースペースB（北九州市） 対 象：環境技術企業、各種団体、金融機関、大学機関等 主 催：環境省九州地方環境事務所 共 催：公益財団法人北九州観光コンベンション協会 協 力：EPO九州 参加者：35名
目的	SDGs推進に向けた、金融・事業者を対象とした政策や地域協働による事業取組を発信し、企業活動の今後の方向性について知見を共有する。
概 要	<プログラム> ■主催者挨拶・主旨説明（SDGs・地域循環共生圏についての情報提供） ■登壇者による情報提供 1. 地域 ESG 融資促進利子補給事業～地域循環共生圏の創出を目指して～ （一社）環境パートナーシップ会議 理事・事務局長 尾山 優子 氏 2. 九州フィナンシャルグループのSDGs推進について （株）九州フィナンシャルグループ経営企画部 サステナビリティ統括室 シニアマネージャー 岡本 安広 氏 3. (公益) 日本青年会議所 九州地区協議会のSDGs推進について ～SDGs×金融の新たな仕組み作り～ (公益) 日本青年会議所 九州地区協議会 サステナビリティ創生会議 議長 末宗 秀平 氏
打合せ等	■EPC 尾山事務局長訪問 期 日：令和元年6月20日 会 場：GEOC 出席者：2名 内 容：環境省による利子補給事業について、基金事務局と意見交換し、地域における発信の場づくりを進めることを合意した。 ■エコテクノ展事務局訪問 期 日：令和元年7月10日（水） 場 所：（公財）北九州環境コンベンション協会事務所（北九州市） 内 容：エコテクノ展打合せ。SDGsとESG金融をテーマにすすめる内容確認 ■日本青年会議所 熊本ブロック協議会 SDGs推進会議 竹永議長打合せ 期 日：令和元年7月16日（火） 場 所：EPO九州 内 容：エコテクノ展登壇に関する依頼。日本青年会議所九州地区協議会サステナブル創生会議末宗議長を紹介される。 ■九州フィナンシャルグループ 岡本シニアマネージャー打合せ 期 日：令和元年8月7日（水） 場 所：九州フィナンシャルグループ事務所（熊本市）

	<p>内 容：九州フィナンシャルグループのSDGs・地方創生に関する取り組み状況ヒアリング、エコテクノ展登壇依頼。</p> <p>■エコテクノ展事務局訪問 期 日：令和元年8月21日（水） 場 所：（公財）北九州環境コンベンション協会事務所（北九州市） 内 容：登壇者決定報告。内容詳細打合せ。</p> <p>■日本 JC 九州地区サステナビリティ推進会議打合せ 期 日：令和元年8月27日（火） 場 所：未来電力株式会社（大分県宇佐市） 内 容：エコテクノ展登壇依頼。青年会議所のSDGs推進の方針と九州地区での取組についてと、再生可能エネルギー会社経営者として企業人の立場から登壇依頼。</p> <p>■エコテクノ展事務局訪問 期 日：令和元年9月25日（水） 場 所：（公財）北九州環境コンベンション協会事務所（北九州市） 内 容：当日会場設備他、最終打合せ</p>
成果	<p>ESG 地域金融に注目が集まる中で、九州地域の金融機関の取組状況や環境省の利子補給事業について情報提供をする他、日本青年会議所九州地区協議会(JC)と銀行との連携商品（私募債）の紹介などを行った。</p> <p>参加者も金融機関をはじめ、SDGsにこれから取り組もうとする企業、NPOなど幅広く関心を広げた。</p> <p>意見交換では、環境省利子補給事業について事務局としての所感、金融機関でSDGs啓発に取り組む中での従業員の変化、JCでの取組などを具体的に紹介いただき、登壇者間での質疑もあり、活発な意見交換が行われた</p>
写真	

行事名	SDGs人材育成フォーラム in おおいた
開催日等	<p>日 時 令和2年2月18日（火）13:30～16:15</p> <p>会 場 全労災ソレイユ ホール</p> <p>対 象 企業、NPO等、SDGs・環境教育に関心のある者</p> <p>主 催 EPO九州</p> <p>後 援 大分県</p>
目 的	持続可能な地域づくりに取り組む事業者や活動団体に、SDGsの視点をとおして課題や問題意識を共有し、水俣地域の積極的な活動推進を充実させる。

<p>概要</p>	<p>講演『SDGs・地域循環共生圏と人材育成について』 九州地方環境パートナーシップオフィス 講演『大分県環境教育行動計画について』 大分県生活環境部うつくし作戦推進課 講演『企業が取り組むSDGs・社会貢献活動』 東京海上日動火災保険株式会社大分支店 講演『協働で取り組む地域の人材育成』 NPO法人ABC野外教育センター 意見交換・質疑応答</p>
<p>打ち合わせ</p>	<p>日時：1月21日（火） 会場：ソレイユ他 会場設備の確認、進行打合せ。また関係機関にフォーラムチラシを配架し、周知した。</p>
<p>成果 検討事項</p>	<p>ローカルSDGsとしての地域循環共生圏が周知され、SDGs推進を担う活動団体等へ周知された。 発表をとおして、大分県が進める環境教育行動計画の考え方、企業とNPOが連携して取り組む人材育成の展開など政策方針や具体的な展開が周知された。 意見交換では、様々な組織・レベルでのSDGs推進に向けた認識拡大や取組の具体化についてアイデアや課題が共有された。</p>
<p>写真</p>	

(4) 外部連携事業（外部資金を活用した取組）

持続可能な社会づくりに向けた協働取組を担う民間団体等の育成に向けて、地球環境基金や民間企業等と連携し組織運営や資金獲得に向けた助言等を行う。また、基金団体等からの外部資金（EPO九州運營業務以外の契約業務扱い）を活用した取組として実施した。

① 地球環境基金との連携

地球環境基金と連携し環境 NGO 等への助成金説明会開催や高校生の環境活動表彰周知に取り組んだ。

1. 助成金説明会の開催協力


行事名	地球環境基金助成金説明会 鹿児島会場
開催日等	日 時：2019年10月18日（金）18：30～20：45 会 場：かごしま県民交流センター 中研修室第2 参加者：環境 NPO 等、資金獲得に関心のある団体 17名 主 催：独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部 協 力：EPO九州
目 的	次年度助成公募についての説明会を開催し、活動団体への助言や申請についての支援を行う。開催にあたっては、開催地域の中間支援団体や自治体等と連携する。
打合せ等	地球環境基金連絡会 日 時：8月1日（木）9：30～12：00 会 場：地球環境基金会議室 今年度の連携した取り組みについて情報交換し、各企画のスケジュール等について確認を行った。
概要	1. SDGs の紹介 2. 鹿児島県内の助成活動紹介 3. 地球環境基金についての説明 4. 個別相談
成果 検討事項	鹿児島会場では、まずEPO九州の役割と SDGs の意義について情報提供を行い、各参加者の理解を深めた。 続いて、実際に助成金制度を活用する特定非営利活動法人くすの木自然館職員より、団体の活動や鹿児島県内の展開について具体的な紹介を行った。 次に、2020年度地球環境基金について、基金事務局職員より説明を行い、フェイズによって分かれたメニューの紹介や、これまでの採択事例、実際の要望書作成の手順について述べられた。 特に活動計画の策定、アウトプットとアウトカムの整理について参加者に入念に案内を行った。 質疑応答を経て、参加した団体からの助成申請の案件について、基金職員が対応する個別相談の時間を設定し、適宜EPO九州も対応を行った。

写真	
----	--

2. 全国ユース環境活動発表大会 九州地方大会への協力

行事名	第5回全国ユース環境活動発表大会 九州地方大会
開催日等	<p>開催：令和元年 12 月 8 日（日）</p> <p>開催会場：TKP 博多（福岡市）</p> <p>対象：環境保全活動等に取り組む高校生</p> <p>主催：独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部</p> <p>協力：EPO 九州</p>
目的	<p>全国の高校生が取り組む環境活動を啓発するコンクールについて、九州地方大会が開催され、これに協力した。</p> <p>周知については、EPO 九州・九州 ESD センターの情報発信において対応した。</p>
概要	<p>退会には、12校が参加し、以下の2校が入賞した。入賞校は全国大会にて活動発表を行った（いずれも優秀賞を受賞）。</p> <p>長崎県立諫早農業高等学校食品科学部 身近な環境問題解決法の検討</p> <p>沖縄県立沖縄水産高等学校シーメンズクラブ 「豊かな海を守る」プロジェクト</p>
写真	

3. ユース SDGs フォーラムへの協力

行事名	ユース SDGs フォーラム
開催日等	開催日時：令和元年8月2日（金） 開催会場：TKP 博多 対象：地域のユース世代（高校生・大学生・若手 NPO・若手企業人） 主催：独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部 協力：EPO 九州
目的	環境省が推進する地域循環共生圏について、ユース世代への普及啓発を勧め、地域におけるネットワークづくりの基礎を構築する。
概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. ユース参加校紹介 3. 全国ユース環境ネットワークの説明 4. 基調講演「地域循環共生圏—日本発の脱炭素化・SDGs 構想—」 5. 事例研修「持続可能な栄養循環が私たちの生命を支える」 6. ワークショップ「SDGs de 未来づくり」 7. ユース SDGs エール発表 8. 講評 9. 閉会
講師	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省環境計画課企画調査室長 岡野 隆宏氏 ・NPO法人循環生活研究所 木村 真知子氏
成果	<p>地球環境基金による全国ユース環境ネットワークによる九州地方ユース SDGs フォーラムに協力を行った。</p> <p>九州における地域循環共生圏のユース世代への普及啓発を目的に、環境省環境計画課岡野室長による基調講演を実施したほか、実際の活動事例として福岡県の NPO 法人循環生活研究所の木村氏による地域の栄養循環についての事例紹介を行った。</p> <p>フォーラムには九州各県から 12 の高校や大学が参加し、各校で取り組む環境保全活動や地域活性化の取組について経験交流を行い、SDGs ワークショップをとおし、持続可能な社会像について自分事として捉える学びの時間を提供した。</p>
写真	

② Green Gift 地球元気プログラムへの協力

東京海上日動火災保険株式会社が取り組む、CSR 活動「Green Gift 地球元気プログラム」について企画協力する。






1. 熊本県プロジェクト（第三期まで）

実施団体	NPO 法人みずのとら BELL 隊
開催日等	<p><第1回> 日 時：令和元年6月23日（日）（4月29日天候不良のため延期日実施） 場 所：鯨の学校（熊本県上益城町） 参加者：35名 主 催：NPO 法人みずのとら BELL 隊 協 力：EPO 九州</p> <p><第2回> 日 時：令和元年9月21日（土） 場 所：鯨の学校（熊本県上益城町） 参加者：23名 主 催：NPO 法人みずのとら BELL 隊 協 力：EPO 九州</p>
目 的	E ボート体験や環境美化活動をおし自然と触れ合うことで、ふるさとの自然を大切に作る心を育む。 及び、災害時の対応力とサバイバル技術について学ぶ。
概 要	<p><第1回プログラム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・E ボートによる河川観察体験と特定外来種の解説 ・河川敷の環境美化活動（ゴミ拾い） ・水のオリンピック体験 <p><第2回プログラム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サバイバルに必要な5つの要素について ・ロープワーク ・防災シェルターづくり
成 果	<p>児童・保護者の自然と環境に対する意識の向上という成果目標に対して、身近にある自然の川で、普段体験できない E ボートを使って楽しくツーリング体験をすることで、身近な緑川という自然の素晴らしさを認識してもらい、環境美化活動を通して、環境に対する意識の向上につながる機会を提供することができた。</p> <p>また、第2回プログラムでは、災害時に必要な5要素を学ぶとともに、ロープワークやブルーシートと棒でのシェルターづくりを体験することが出来た。</p>
打合せ等	<p><打合せ> 日 時：平成31年4月22日（月） 場 所：東京海上日動火災保険株式会社熊本支店 出席者：6名 内 容：4月29日に行うプログラムについて、参加人数や当日のスケジュールや役割分担、実施体制・安全管理体制等について確認を行った。</p>

<p>打合せ等</p>	<p><会場下見> 日 時：令和元年6月19日（水） 会 場：鯨の学校（熊本県上益城町） 内 容：集合場所や危険箇所、注意事項等の確認</p> <p><打合せ> 日 時：令和元年9月3日（火） 場 所：東京海上日動火災保険株式会社熊本支店 出席者：5名 内 容：第2回プログラムについての打合せ</p> <p><振り返り会議> 日 時：令和元年10月8日（火） 場 所：東京海上日動火災保険株式会社熊本支店 出席者：5名 内 容：2回のプログラムを通しての評価・振り返り会議 3年間を通しての振り返り</p>
<p>写 真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">第1回プログラム</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">第2回プログラム</p>

2. 大分県プロジェクト

実施団体	NPO 法人 ABC 野外教育センター
開催日等	<p><第1回> 日 時：令和元年5月26日（日）（5月19日天候不良のため延期日実施） 場 所：住吉浜リゾートパーク（大分県杵築市） 参加者：33名 主 催：NPO 法人 ABC 野外教育センター 協 力：EPO 九州</p> <p><第2回> 日 時：令和元年月7月15日（日） 場 所：屋形島（大分県佐伯市蒲江） 参加者：29名 主 催：NPO 法人 ABC 野外教育センター 協 力：EPO 九州</p>
目 的	海やビーチに流れ着くゴミの種類と量に気づき、自分たちの生活を見直すきっかけとする。また、漂流物やごみなどでも日常に使うものを作成する事が出来ることに気づく。
概 要	<p><第1回プログラム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察とゴミ・漂流物拾い ・エコクラフト体験（フォトフレーム作り） <p><第2回プログラム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海のサンゴクラフトづくり ・シーカヤック・SAP 体験 ・シュノーケリング
成 果	海やビーチに流れ着く生活ゴミの種類と量に気づき、自分たちの生活を見直すきっかけとするという成果目標に対して、自然観察やエコクラフト体験をとおして、自分たちの日常の生活やごみに繋がることを考えるきっかけとなった。また、海外からのごみや漁業で出てしまうごみなどについても学ぶ機会とすることができた。
打合せ等	<p><企画打合せ> 日 時：令和元年5月7日（火） 場 所：東京海上大分支店 出席者：4名 内 容：実施団体と支店担当者にて、5月20日に行うプログラムについて、参加人数や当日のスケジュールや役割分担、実施体制・安全管理体制等についての確認が行われた。</p> <p><企画打合せ> 日 時：令和元年7月2日（火） 場 所：東京海上大分支店 出席者：4名 内 容：第2回プログラムについての打合せ・確認事項等</p> <p><振り返り会議> 日 時：令和元年10月11日（火）</p>

<p>打合せ等</p>	<p>場 所：東京海上大分支店 出席者：4名 内 容：2回のプログラムを通しての評価・振り返り会議</p> <p><企画打合せ> 日 時：令和元年12月5日（木） 場 所：WEB会議 出席者：4名 内 容：新年度の取組内容について打合せ</p> <p><企画打合せ> 日 時：令和2年3月27日（木） 場 所：WEB会議 出席者：4名 内 容：プログラム目標シート・実施計画シート・第1回プログラムについて</p>
<p>写 真</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div> <p style="text-align: center;">第1回プログラム</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">第2回プログラム</p>

3. 宮崎県プロジェクト


実施団体	NPO 法人大淀川流域ネットワーク
開催日等	<p><第2回> 日 時：平成31年4月28日（日） 場 所：宮崎市 大淀川河川敷 参加者：66名 主 催：NPO 法人大淀川流域ネットワーク 協 力：EPO九州</p>
目 的	ふるさと川の川「大淀川」で、遊び楽しみながら、川の素晴らしさ・大切さ・楽しさに気づき、環境保全についてみんなで考える。
概 要	<p><第2回プログラム> 1. 開会 2. Eボートで水辺の観察・タコノアシの保全活動・ソリをつかって芝すべり 3種プログラムを一組子ども15名+保護者の2組で順に実施 3. 交流会（意見交換会） 大人の部と子ども部に分かれて実施 4. 全体ふりかえり 5. 閉会</p>
成 果	<p>12月に続いて、同内容で実施したこともあり、自然に興味を持っている子どもたちが多く、円滑に楽しくプログラムが進行した。 「ソリをつかって芝すべり」では、行政に対して河川空間の新たな利用について検討のきっかけとなった。 「Eボートで水辺の観察」では、県内の河川国道事務所の協力を得て、複数の艇により安全な実施がなされた。 「タコノアシの保全活動」では、準絶滅危惧種が身近に生育していることを知り、環境を守ることの大切さを伝えることができた。 企画の段階から、宮崎県・国土交通省宮崎河川国道事務所など様々な関係者の協働が進行し、協定を締結したことが大きな成果を生んだ第三期プログラムであった。</p>
打合せ等	<p><企画打合せ> 日 時：平成31年4月23日 10:00~11:30 場 所：東京海上日動 宮崎支店 出席者：10名 内 容：プログラム当日の進行、またスタッフの役割について確認。</p> <p><振り返り会議> 日 時：平成31年5月24日 10:00~11:30 場 所：東京海上日動 宮崎支店 出席者：5名 内 容：第三期の取り組みについて、全体を通じた成果の取りまとめを実施。</p> <p><第四期に向けた打ち合わせの実施> 日 時：令和2年2月26日（水） 13:00~14:00 場 所：8名 内 容：プログラムの年間実施計画と、第一回プログラムの計画について検討。</p>



4. 第3期全国振り返り会議への参加

行事名	GreenGift 地球元気プログラム年間振り返り全国会議
開催日等	日 時：令和元年 10 月 21 日（月） 15：00～18：15 会 場：東京海上日動火災保険株式会社 本館（東京都千代田区） 参加者：57 名 進 行：日本 NPO センター・EPO
目的	第三期の本プログラム実施において 3 カ年の最終年度を終了したことに伴い、事業に取り組んだ団体が経験交流を図るとともに、プログラム終了後にも持続可能な取り組みとして、地域の中で活動が継続していくための知見を共有する。
概要	〈プログラム〉 1. 開会 2. 趣旨説明とスケジュール報告 3. プログラム3年間全体の成果について 4. ワークショップ「プログラム3年間で3大ニュースで振り返る」 5. ワークショップ「Green Gift Cup2019」 6. 閉会
成果	九州地方から、平成25年から3年間に渡って取り組んできた熊本県・大分県・宮崎県の3地域の活動団体が参加し、プログラムの振り返りを行うとともに、全国各地の団体及び EPO との意見交換を実施した。 全国事務局からは、定量的に判断できる指標からプログラム全体の成果が紹介され、地域における協働取り組みとして大きな波及効果があったことが説明された。
写真	

5. 第4期全国キックオフ会議への参加


行事名	GreenGift 地球元気プログラム第四期キックオフ会議
開催日等	日 時：令和元年 10 月 21 日（月）13：00～14：30 会 場：東京海上日動火災保険株式会社 本館（東京都千代田区） 参加者：47 名 進 行：日本 NPO センター・EPO
目的	令和元年 10 月より新たなフェイズとして第四期がスタートすることに伴い、本プログラムの趣旨と目的を共有し、これまでプログラムに取り組んできた活動団体、また、今年度から初めてプログラム取り組み団体との間で、円滑なプログラム運営を行うノウハウを共有する。
概要	〈プログラム〉 1. 開会 2. プログラム趣旨説明 3. GreenGift 地球元気プログラム第四期実施 NPO・EPO の紹介 4. 年間スケジュール・事業評価の説明
成果 検討事項	継続して取り組みを行う大分県、宮崎県に加え、今期から加わる福岡県北九州市から北九州 ESD 協議会が参加した。先行して活動する九州の 2 団体を含めた全国の活動団体から多くの示唆を得たことで、円滑な今期プログラム運営につながる会議となった。 また既存の二団体についても、全国事務局からの成果報告をとおして、新たなフェイズへの移行についての意識付けが行われ、新たな要素、新たな関係者を模索する契機となった。
写真	

6. 第4期プログラムに向けた取組

実施団体	北九州 ESD 協議会
打合せ等	〈企画打合せ〉 期 日：令和元年 8 月 21 日（水） 場 所：東京海上日動火災保険株式会社北九州支店 出席者：5 名 内 容：GreenGift 地球元気プログラムについての説明 活動団体「北九州 ESD 協議会」での了承確認 〈企画打合せ〉

	<p>期 日：令和元年 9 月 25 日（水） 場 所：東京海上日動火災保険株式会社北九州支店 出席者：5 名 内 容：年間プログラム内容打合せ</p> <p><企画打合せ> 期 日：令和元年 12 月 10 日（火） 場 所：北九州 ESD 協議会事務所・合馬 出席者：2 名 内 容：第 1 回プログラム内容打合せ・現地下見</p> <p><企画打合せ> 期 日：令和元年 12 月 11 日（水） 場 所：北九州 ESD 協議会・水環境館 出席者：2 名 内 容：第 2 回プログラム内容打合せ・水環境館下見</p> <p><企画打合せ> 期 日：令和元年 12 月 24 日（火） 場 所：東京海上日動火災保険株式会社北九州支店 出席者：5 名 内 容：年間方針・プログラム目標シート・実施計画シート・第 1 回プログラム内容について打合せ</p>
<p>写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>第 1 回プログラム下見</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>第 2 回プログラム下見</p> </div> </div>

7. ブロック会議の実施

<p>開催日等</p>	<p>日 時：令和2年2月17日（月）～18日（火） 会 場：大分県杵築市・大分市 参加団体： 【活動団体】北九州 ESD 協議会（福岡県）、ABC 野外教育センター（大分県） 大淀川流域ネットワーク（宮崎県） 【全国事務局】日本 NPO センター、コ・クリエーションデザイン 【関東地方支援事務局】 関東地方環境パートナーシップオフィス 【主催・九州地方支援事務局】九州地方環境パートナーシップオフィス</p>
<p>目 的</p>	<p>2019年10月からの第4期として新たな3年間の取組実施に向け、EPO九州は地方支援事務局として、福岡県、大分県、宮崎県の活動を支援する。 そのプログラムの一環として、各県の実施団体の経験交流や情報交換をとおして、実施団体の取り組みのステップアップと、課題解決のための団体間のネットワーク構築を目指すブロック会議を大分県にて開催する。</p>
<p>成果 検討事項</p>	<p>■フィールド視察（杵築市住吉浜地域）（令和2年2月17日） 現地の活動団体であるABC野外教育センターが杵築市住吉浜を紹介。 住吉浜のフィールドを隅々まで視察し、各施設の利用について提供プログラムの幅広さを共有した。また活動団体から、安全管理の手法や社会人研修の実情など、様々な質問が行われ、各団体の活動に活かせるポイントについて情報交換が進行した。</p> <p>■ブロック会議の実施（大分県大分市）（令和2年2月18日） 3つの団体から、団体の概要とこれまでどのような活動を行ってきたか、GreenGift 地球元気プログラムに取り組みにあたって意識したポイントについて意見交換を行った。</p> <p>第4期プログラム実施前の時期でもあり、今期より初めてプログラムに参加する団体もあることから、プログラムの実施をとおして、どのような変化が団体にもたらされたか、活動の幅がどのように広がったのかが議論された。</p> <p>また、野外体験を中心とすることからリスク管理の手法についても改めて議論が深まり、リスクの把握や想定、緊急時の情報共有などについてより実践的な話題が検討された。参加者の増減についても、活動団体として不安の多いところでもあり、チラシの配布手法やインターネットの活用など成功事例が共有された。</p> <p>全国事務局からは、プログラムをとおして、参加者や地域にどのような変化がもたらされたかについて、成果を測る手法について助言があり、3年間という期間をとおして、各団体が解決したい課題や、挑戦したいテーマを明確化し、団体の幅を広げるようなプログラム手法についてビジョンが共有された。</p>
<p>写 真</p>	

(5) EPO 九州の維持管理

EPO 九州の維持管理にあたって、スタッフ体制を整備し、各業務を分担、維持管理に努める。なお、スタッフは積極的に所外での連携促進・協働取組への関与、柔軟な相談対応に努めることとし、窓口（開所）業務については市民への情報提供等に差し障りの無い範囲において執行（必要に応じて臨時閉所対応）する。

運營業務の実施にあたっては、九州地方環境事務所担当官と定例会議を開催し、業務進捗の管理を行う。

① 定例会議の開催

概ね月に1回、担当官、運営スタッフ、運営団体による定例会議を開催する。定例会議においては、運営全般に関する事項、個別事業に関する事項の他、円滑な運営に必要な事項を協議する。また、その他必要な事項についてはスタッフミーティングや個別打合せを行い対応した。

【運営定例会議の主な議題】

回	月	日	主な議題と検討内容
1	4	17	1 基本業務関係 (1) 運営委員会 (2) 情報の収集・発信、PR (3) 相談対応 (4) 対話の場づくり (5) 地域における環境保全活動の促進 (6) 全国事業に関わる業務 2 全国事業 (1) 同時解決事業 連絡会の開催計画と支援計画の検討 (2) SDGs 研修・ワークショップ 3 地方センター運營業務 (1) 地域 ESD 拠点の形成支援・活動支援 (2) ESD 活動に関する地域ネットワークの形成 (3) 全国センターとの連携 (4) 相談対応 4 外部資金の活用 (1) 地球環境基金との連携 (2) グリーンギフトプロジェクト 5 運営について (1) 契約について
2	5	28	1 基本業務関係 (1) 運営委員会 第一回運営委員会内容確認 (2) 情報の収集・発信、PR ウェブページの改修について (3) 相談対応 (4) 対話の場づくり (5) 地域における環境保全活動の促進 地域循環共生圏 金融関係調査 (6) 全国事業に関わる業務 2 全国事業 (1) 同時解決事業 事業計画及び連絡会について (2) SDGs 研修・ワークショップ 3 地方センター運營業務 (1) 地域 ESD 拠点の形成支援・活動支援 (2) ESD 活動に関する地域ネットワークの形成 (3) 全国センターとの連携 (4) 相談対応 4 外部資金の活用 (1) 地球環境基金との連携 (2) グリーンギフトプロジェクト 5 運営について

			(1) 契約について
3	6	27	<p>1 基本業務関係 (1) 運営委員会 開催振り返り (2) 情報の収集・発信、PR (3) 相談対応 (4) 対話の場づくり (5) 地域における環境保全活動の促進 (6) 全国事業に関わる業務 全国 EPO 連絡会</p> <p>2 全国事業 (1) 同時解決事業 第一回連絡会及びブロック横断研修について (2) SDGs 研修・ワークショップ 水俣市開催・エコテクノ展</p> <p>3 地方センター運營業務 (1) 地域 ESD 拠点の形成支援・活動支援 (2) ESD 活動に関する地域ネットワークの形成 (3) 全国センターとの連携 (4) 相談対応</p> <p>4 外部資金の活用 (1) 地球環境基金との連携 (2) グリーングiftプロジェクト</p> <p>5 運営について (1) 契約について</p>
4	7	25	<p>1 基本業務関係 (1) 運営委員会・企画運営委員会 (2) 情報の収集・発信、PR (3) 相談対応 白書を読む会 (4) 対話の場づくり (5) 地域における環境保全活動の促進 (6) 全国事業に関わる業務</p> <p>2 全国事業 (1) 同時解決事業 ブロック横断研修 (2) SDGs 研修・ワークショップ ともに暮らすみなまたフォーラム エコテクノ展セミナー開催 (3) 地域循環共生圏推進・SDGs 未来都市関連</p> <p>3 地方センター運營業務 (1) 地域 ESD 拠点の形成支援・活動支援 (2) ESD 活動に関する地域ネットワークの形成 教育委員会サミット対応、学びあいフォーラム開催、沖縄地域 ESD 意見交換会 (3) 全国センターとの連携 (4) 相談対応</p> <p>4 外部資金の活用 (1) 地球環境基金との連携 ユース SDGs フォーラム、助成金説明会、ユース地区審査 (2) グリーングiftプロジェクト</p> <p>5 外部資金の活用 (1) 地球環境基金との連携 (2) グリーングiftプロジェクト</p>
5	8	23	<p>1 基本業務関係 (1) 運営委員会・企画運営委員会 (2) 情報の収集・発信、PR (3) 相談対応 白書を読む会 (4) 対話の場づくり (5) 地域における環境保全活動の促進 (6) 全国事業に関わる業務</p> <p>2 全国事業 (1) 同時解決事業 ブロック横断研修、リーフレット作成 (2) SDGs 研修・ワークショップ ともに暮らすみなまたフォーラム、エコテクノ展セミナー開催 (3) 地域循環共生圏推進・SDGs 未来都市関連</p> <p>3 地方センター運營業務 (1) 地域 ESD 拠点の形成支援・活動支援 (2) ESD 活動に関する地域ネットワークの形成 教育委員会サミット対応、学びあいフォーラム開催 沖縄地域 ESD 意見交換会、福岡教育大学 ESD 受講生受け入れ (3) 全国センターとの連携</p>

			<p>(4) 相談対応</p> <p>4 外部資金の活用</p> <p>(1) 地球環境基金との連携 ユースSDGsフォーラム、助成金説明会、ユース地区審査</p> <p>(2) グリーングフトプロジェクト</p> <p>5 地域循環共生圏対応</p> <p>(1) 地域循環共生圏推進・SDGs未来都市関連、各PF採択地域の動向</p> <p>6 運営について</p> <p>(1) 契約について</p> <p>(2) その他 暑さ指数計貸し出し</p>
6	9	20	<p>1 基本業務関係</p> <p>(1) 運営委員会・企画運営委員会 第二回委員会について調整</p> <p>(2) 情報の収集・発信、PR 迷惑メール発出について</p> <p>(3) 相談対応 白書を読む会</p> <p>(4) 対話の場づくり</p> <p>(5) 地域における環境保全活動の促進、金融関係調査</p> <p>(6) 全国事業に関わる業務</p> <p>2 全国事業</p> <p>(1) 同時解決事業 ブロック横断研修、専門家招聘 SDGs・同時解決事業に関するリーフレット作成</p> <p>(2) SDGs研修・ワークショップ エコテクノ展セミナー開催</p> <p>(3) 地域循環共生圏推進・SDGs未来都市関連</p> <p>3 地方センター運営業務</p> <p>(1) 地域ESD拠点の形成支援・活動支援</p> <p>(2) ESD活動に関する地域ネットワークの形成 教育委員会サミット・学びあいフォーラム、沖縄地域ESD意見交換会</p> <p>(3) 全国センターとの連携</p> <p>(4) 相談対応</p> <p>4 外部資金の活用</p> <p>(1) 地球環境基金との連携 助成金説明会、ユース地区審査</p> <p>(2) グリーングフトプロジェクト 全国振り返り会議、次期プログラムについて</p> <p>5 地域循環共生圏対応</p> <p>(1) 地域循環共生圏推進・SDGs未来都市関連 情報収集整理、EPOの関与につて</p> <p>6 運営について</p> <p>(1) 契約について</p> <p>(2) その他</p>
7	10	24	<p>1 基本業務関係</p> <p>(1) 運営委員会・企画運営委員会 第二回委員会について調整</p> <p>(2) 情報の収集・発信、PR メールマガジンセキュリティ強化提案、ニュースレター作成準備</p> <p>(3) 相談対応 温暖化防止カンファレンス</p> <p>(4) 対話の場づくり 令和元年度白書を読む会</p> <p>(5) 地域における環境保全活動の促進 金融関係調査、九州環境教育ミーティング秋実施について</p> <p>(6) 全国事業に関わる業務 第二回全国EPO連絡会</p> <p>2 全国事業</p> <p>(1) 同時解決事業 地域協議会の開催、専門家招聘、SDGs・同時解決事業に関するリーフレット作成 事業形成会議、第二回連絡会</p> <p>(2) SDGs研修・ワークショップ エコテクノ展セミナー開催</p> <p>(3) 地域循環共生圏推進・SDGs未来都市関連</p> <p>3 地方センター運営業務</p> <p>(1) 地域ESD拠点の形成支援・活動支援</p> <p>(2) ESD活動に関する地域ネットワークの形成 教育委員会サミット・学びあいフォーラム、沖縄地域ESD意見交換会</p> <p>(3) 全国センターとの連携 第二回地方センター連絡会</p> <p>(4) 相談対応 参加行事等</p> <p>4 外部資金の活用</p> <p>(1) 地球環境基金との連携 助成金説明会、ユース地区審査</p> <p>(2) グリーングフトプロジェクト 全国キックオフ・振り返り会議、次期プログラム</p> <p>5 地域循環共生圏対応</p> <p>(1) 地域循環共生圏推進・SDGs未来都市関連 情報収集整理、EPOの関与につて</p> <p>6 運営について</p> <p>(1) 契約について</p> <p>(2) その他</p>

8	11	21	<p>1 基本業務関係</p> <p>(1) 運営委員会・企画運営委員会 第二回委員会について</p> <p>(2) 情報の収集・発信、PR メールマガジンセキュリティ強化提案、ニュースレター作成</p> <p>(3) 相談対応 温暖化防止カンファレンス</p> <p>(4) 対話の場づくり EPO 東北主催東北地方ビジターセンター意見交換会参加</p> <p>(5) 地域における環境保全活動の促進 地域循環共生圏 金融関係調査</p> <p>(6) 全国事業に関わる業務 第二回全国 EPO 連絡会</p> <p>2 全国事業</p> <p>(1) 同時解決事業 SDGs・同時解決事業に関するリーフレット完成・頒布 事業形成会議、第二回連絡会</p> <p>(2) SDGs 研修・ワークショップ エコテクノ展セミナー開催</p> <p>(3) 地域循環共生圏推進・SDGs 未来都市関連</p> <p>3 地方センター運営業務</p> <p>(1) 地域 ESD 拠点の形成支援・活動支援</p> <p>(2) ESD 活動に関する地域ネットワークの形成 沖縄地域 ESD 意見交換会</p> <p>(3) 全国センターとの連携 全国センターフォーラム</p> <p>(4) 相談対応</p> <p>4 外部資金の活用</p> <p>(1) 地球環境基金との連携</p> <p>(2) グリーングフトプロジェクト 次期プログラムについて</p> <p>5 地域循環共生圏対応</p> <p>(1) 地域循環共生圏推進・SDGs 未来都市関連 各プラットフォームへの対応状況、意見交換会対応について</p> <p>6 運営について</p> <p>(1) 契約について</p> <p>(2) その他</p>
9	12	17	<p>1 基本業務関係</p> <p>(1) 運営委員会・企画運営委員会 第二回委員会について(概要)、評価委員会について</p> <p>(2) 情報の収集・発信、PR メールマガジンセキュリティ強化提案、ニュースレター作成</p> <p>(3) 相談対応 参加行事</p> <p>(4) 対話の場づくり EPO 東北主催東北地方ビジターセンター意見交換会参加 SDGs リーダー育成研修への対応</p> <p>(5) 地域における環境保全活動の促進 地域循環共生圏 金融関係調査 九州環境教育ミーティング実施について</p> <p>(6) 全国事業に関わる業務 第二回全国 EPO 連絡会</p> <p>(7) 追加業務 おおいた環境教育フォーラム(仮称)について</p> <p>2 全国事業</p> <p>(1) 同時解決事業 SDGs・同時解決事業に関するリーフレット完成・頒布、事業形成会議 第二回連絡会、成果共有会について</p> <p>(2) SDGs 研修・ワークショップ</p> <p>(3) 地域循環共生圏推進・SDGs 未来都市関連</p> <p>3 地方センター運営業務</p> <p>(1) 地域 ESD 拠点の形成支援・活動支援 鹿児島県内団体への呼びかけ</p> <p>(2) ESD 活動に関する地域ネットワークの形成 沖縄地域 ESD 意見交換会</p> <p>(3) 全国センターとの連携 全国センターフォーラム対応</p> <p>(4) 相談対応</p> <p>4 外部資金の活用</p> <p>(1) 地球環境基金との連携 ユース地区審査</p> <p>(2) グリーングフトプロジェクト</p> <p>4 外部資金の活用</p> <p>(1) 地球環境基金との連携</p> <p>(2) グリーングフトプロジェクト 次期プログラムについて ブロック研修について</p> <p>5 地域循環共生圏対応</p> <p>(1) 地域循環共生圏推進・SDGs 未来都市関連 事業取りまとめ会議の対応について 意見交換会対応について</p> <p>6 運営について</p>

			<ul style="list-style-type: none"> (1) 契約について 変更契約について (2) その他
10	1	23	<ul style="list-style-type: none"> 1 基本業務関係 <ul style="list-style-type: none"> (1) 運営委員会・企画運営委員会 第二回委員会実施について、評価委員会について (2) 情報の収集・発信、PR ニュースレター作成 (3) 相談対応 参加行事 (4) 対話の場づくり (5) 地域における環境保全活動の促進 地域循環共生圏 金融関係調査、九州環境教育ミーティング実施について (6) 全国事業に関わる業務 第二回全国 EPO 連絡会 (7) 追加業務 「SDGs 人材育成フォーラム in おおいた」について 2 全国事業 <ul style="list-style-type: none"> (1) 同時解決事業 第二回連絡会実施について、成果共有会について (2) SDGs 研修・ワークショップ (3) 地域循環共生圏推進・SDGs 未来都市関連 3 地方センター運営業務 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域 ESD 拠点の形成支援・活動支援 新規拠点登録について (2) ESD 活動に関する地域ネットワークの形成 沖縄地域 ESD 意見交換会 (3) 全国センターとの連携 全国センターフォーラム参加報告、地方センター連絡会対応 (4) 相談対応 4 外部資金の活用 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地球環境基金との連携 (2) グリーンギフトプロジェクト 次期プログラムについて、ブロック会議実施について 5 地域循環共生圏対応 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域循環共生圏推進・SDGs 未来都市関連 事業取りまとめ会議の対応について、意見交換会対応について 6 運営について <ul style="list-style-type: none"> (1) 契約について 変更契約について
11	2	21	<ul style="list-style-type: none"> 1 基本業務関係 <ul style="list-style-type: none"> (1) 運営委員会・企画運営委員会 評価委員会指摘事項について (2) 情報の収集・発信、PR ニュースレター作成、メルマガ発行形態整理 (3) 相談対応 参加行事 (4) 対話の場づくり (5) 地域における環境保全活動の促進 地域循環共生圏 金融関係調査 九州環境教育ミーティング実施について (6) 全国事業に関わる業務 第二回全国 EPO 連絡会 (7) 追加業務 「SDGs 人材育成フォーラム in おおいた」報告 2 全国事業 <ul style="list-style-type: none"> (1) 同時解決事業 第二回連絡会実施について、成果共有会について、報告書に関する打ち合わせ 3 地方センター運営業務 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域 ESD 拠点の形成支援・活動支援 新規拠点登録について (2) ESD 活動に関する地域ネットワークの形成 沖縄地域 ESD 意見交換会 (3) 全国センターとの連携 成果取りまとめについて (4) 相談対応 4 外部資金の活用 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地球環境基金との連携 ユース環境活動発表について (2) グリーンギフトプロジェクト ブロック会議実施について報告 5 地域循環共生圏対応 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域循環共生圏推進・SDGs 未来都市関連 第二回意見交換会対応について、分科会対応について、ブロック会議について シンポジウム情報共有 6 運営について <ul style="list-style-type: none"> (1) 契約について 変更契約について (2) その他
12	3	19	<ul style="list-style-type: none"> 1 基本業務関係 <ul style="list-style-type: none"> (1) 運営委員会・企画運営委員会 評価委員会指摘事項について (2) 情報の収集・発信、PR ニュースレター作成、メルマガ発行形態整理 (3) 相談対応 参加行事 (4) 対話の場づくり 国頭村役場九州視察同行について

			<ul style="list-style-type: none"> (5) 地域における環境保全活動の促進 <ul style="list-style-type: none"> 地域循環共生圏 金融関係調査 九州環境教育ミーティング実施について (6) 全国事業に関わる業務 (7) 追加業務 「SDGs 人材育成フォーラム in おおいた」 報告 2 全国事業 <ul style="list-style-type: none"> (1) 同時解決事業 成果共有会について 3 地方センター運営業務 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域 ESD 拠点の形成支援・活動支援 <ul style="list-style-type: none"> 登録状況について共有 (2) ESD 活動に関する地域ネットワークの形成 <ul style="list-style-type: none"> 竹富町・西表 SDGs・ESD 意見交換会 (3) 全国センターとの連携 <ul style="list-style-type: none"> 全国センター企画運営委員会実施について (4) 相談対応 4 外部資金の活用 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地球環境基金との連携 (2) グリーンギフトプロジェクト 次期プログラムについて 5 地域循環共生圏対応 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域循環共生圏推進・SDGs 未来都市関連 <ul style="list-style-type: none"> 第二回意見交換会・成果報告会について 地域循環共生圏ブロック会議について 6 運営について <ul style="list-style-type: none"> (1) 契約について (2) その他
--	--	--	---

② EPO 九州の開所状況

EPO 九州の維持管理には、スタッフ体制を整備し、各業務を分担、維持管理に努める。なお、スタッフは積極的に所外での連携促進・協働取組への関与、柔軟な相談対応に努めることとし、窓口（開所）業務については市民への情報提供等において差し障りの無い範囲において執行（必要に応じて臨時閉所対応）する。

【開所状況】

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	開所日数	20	18	20	21	21	19
来所者数（人）	相談	14	7	1	8	4	2
	情報収集・受取	1	0	0	0	5	2
	行事参加	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	7	0	1	0
	合計	15	7	8	8	10	4
パンフレット等受付 （種類）	ともに生きる	1	1	0	2	1	2
	自然・生命	2	2	0	3	5	3
	ごみ・資源	1	1	1	1	0	2
	エネルギー・地球温暖化	0	2	3	1	1	1
	ESD・環境教育	12	7	4	1	5	3
	助成金・団体支援	0	1	1	0	2	4
	全国のEPO	5	1	0	1	0	1
	行政	0	1	1	1	0	1
	その他	0	0	0	0	0	1
	合計	21	16	10	10	14	18

	月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	開所日数	20	21	20	18	17	20
来所者数（人）	相談	2	4	2	2	0	0
	情報収集・受取	1	0	0	0	0	1
	行事参加	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	4
	合計	3	4	2	2	0	5
パンフレット等受付 （種類）	ともに生きる	3	3	1	1	0	1
	自然・生命	2	6	2	1	0	0
	ごみ・資源	1	0	2	0	0	2
	エネルギー・地球温暖化	0	2	1	0	0	0
	ESD・環境教育	4	2	3	1	4	2
	助成金・団体支援	1	2	3	0	0	0
	全国のEPO	1	2	0	0	0	0
	行政	0	1	0	1	0	0
	その他	1	0	0	0	0	0
	合計	13	18	12	4	4	5

リサイクル適性の表示：紙へリサイクル可

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて作製しています。